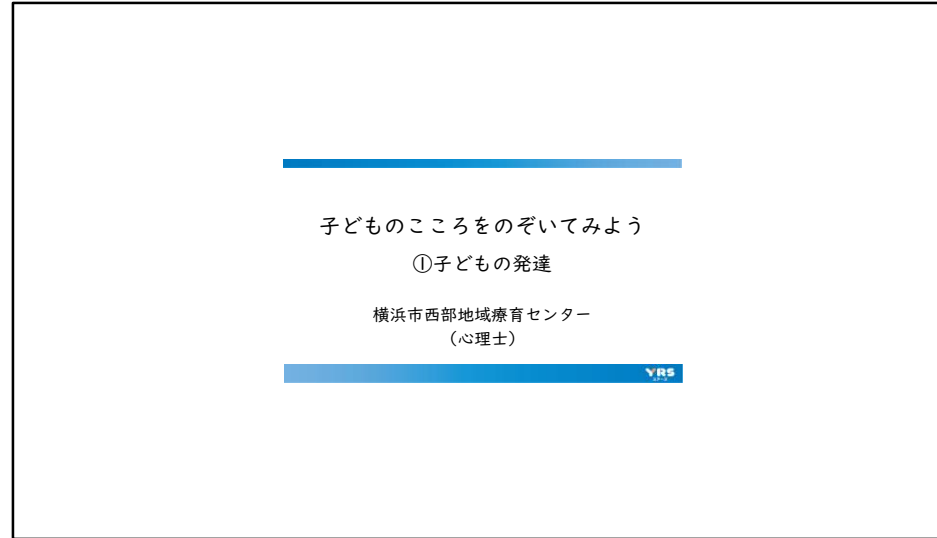


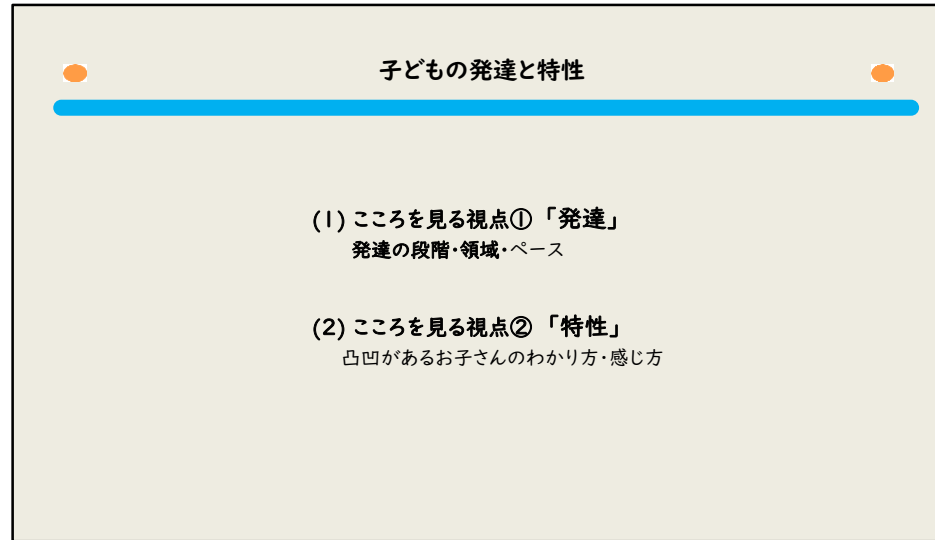
ご視聴の皆さまへ

- 配信動画および資料の著作権は、横浜市リハビリテーション事業団が保有します。
- 動画および資料の無断転載、複製、転用、販売等の二次利用は、固く禁じます。
- この配信動画は、当センター利用者の保護者の方のみ視聴可能です。
- 第三者に動画および付属資料の URL を拡散することはお控えください。





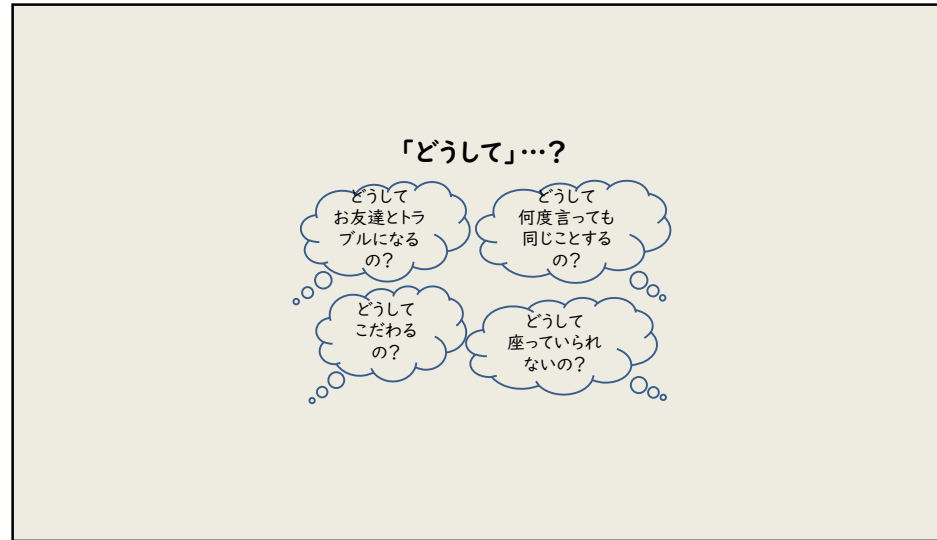
きそこうざ「こどものこころをのぞいてみよう」1こどものはったつについてしんりしからおはなしします。



このこうぎでは、2ぶこうせいでおはなします。

①でははったつについてです。「こころ」をみるときにひつようなしてんとして、「こどものはったつ」とたいおうのポイントについておはなします。

②ではとくせいについてです。はったつのでこぼこがあるおこさんのこころのとくちょうと、とくちょうにあわせたたいおうのポイントをおはなします。



さっそくですが、わたしたちがよくおやごさんからうかがうこそだてでのぎもんをあげてみます。

「どうしておともだちとトラブルになるんだろう」

「どうしてなんどいってもおなじことをするんだろう」

「どうしてこだわるんだろう」

「どうしてすわってられないのだろう」

みなさんもおなじようなぎもんをおかんじになられたことがあるのではないのでしょうか？

これらすべては、おこさんの「ころ」がかんけいしています。

でも、ころはめにはみえません。とくにじぶんのきもちをことばでつたえられないおこさんには、こうどうからすいそくしてい
くしかありません。



さきほどのぎもんをとくヒントについて、すこしおはなしします。

これは、ひょうざんモデルという「めにみえるこうどうだけではなく、こうどうのはいけいにあるりゆうにちゅうもくしましょう」というかんがえかたのずです。

ひょうざんをかたどったもので、てんせんはすいめんとおもってみてみてください。すいめんのうえのぶぶんに、めにみえて
いるこうどうがあり、すいめんかにこうどうのりゆう、とあります。

このようにおこさんのめにみえるこうどう、というのはひょうざんのほんのいちぶ、いっかくにすぎず、こうどうのりゆうのほう
がたくさんあるのだ、というかんがえかたです。



では、おこさんのこころをどうやってみていくとよいのでしょうか。

そのときに、2つのしてんをいしきするとおこさんのきもちがわかりやすくなるかとおもいます。
ひとつめが「はったつ」そして、もうひとつが「とくせい」です。

こどものこころをのぞいてみよう1でははったつについておはなしします。

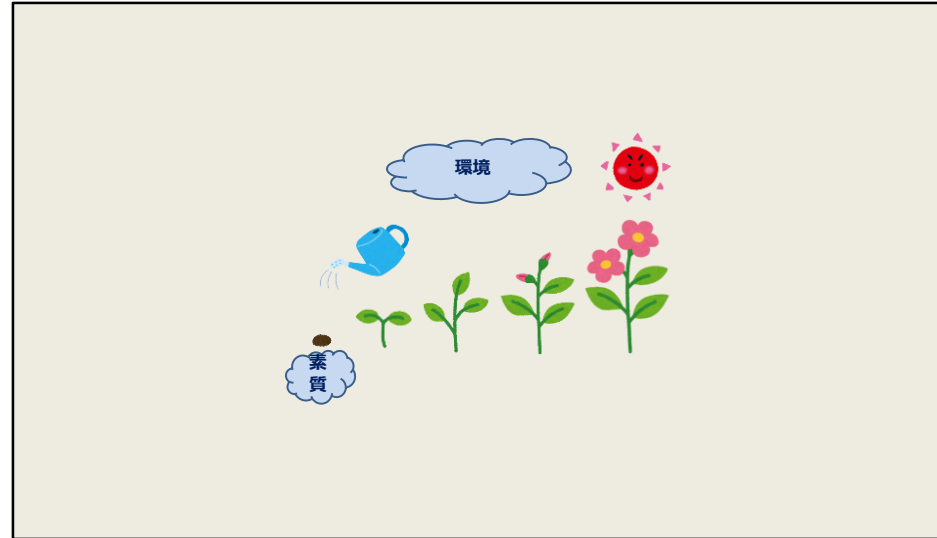
「発達」と聞いて、
どんなことをイメージしますか？

みなさんは、「はったつ」ときいて、どんなことをイメージしますか？

はったつということばをめいかくにせつめいするのはいがいとむずかしいのではないかとおもいます。

じしょてきないみだと、きんにくのはったつとか、さんぎょうのはったつなどのようにつかわれ、

しんたいやせいしんなどがせいちょうして、よりかんせいしたじょうたいやきのうになるとか、きのうがよりたかいていどにすすむ、はっきされる、といういみでつかわれています。



これはおはながさくまでのかていです。

まずしゅがあって、そこにおみずやおひさまといったえいようをあたえると、めがでてきのがのびて、はっぱがふえて、つぼみがふくらんで、おはながさきます。

このしゅからおはながさくまでのプロセスをはったつとかんがえていただくとイメージしやすいかとおもいます。

しよくぶつにはさまざまなせいしつがあります。

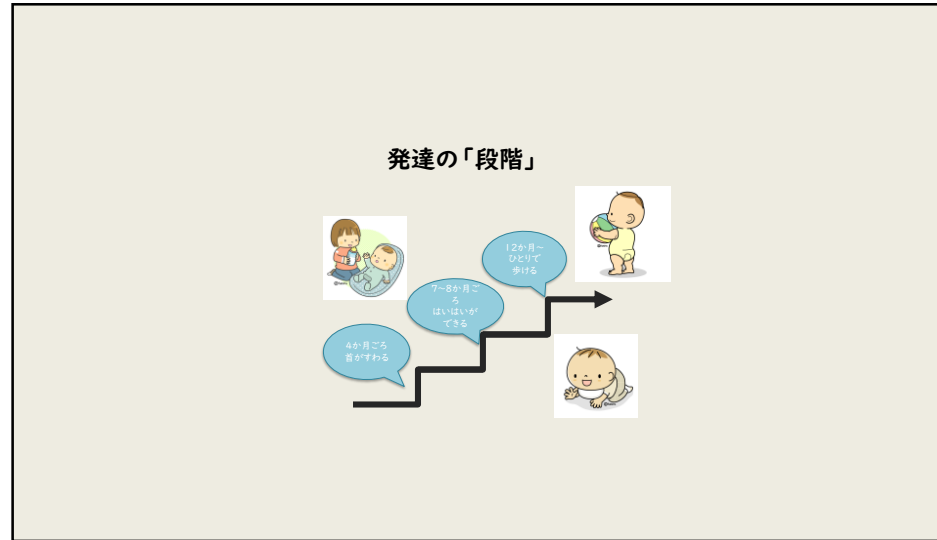
うえるばしよをえらんだり、すいぶんをあたえすぎではよくないしよくぶつもあれば、にっこうがあまりあたらないところでそだてたほうがいいものもあります。たねをてきせつなばしよにうえて、ひつようなぶんのえいようをあたえるとしよくぶつがよりよくせいちょうし、おはながさくことにつながります。

これをひとにおきかえてみると、たねはそしつ、そしておみずやにっこうというえいようはかんきょうです。

しよくぶつのばあい、あさがおのたねからはあさがお、ひまわりのたねからはひまわりがさき、もともとのそしつがちがうものになることはありませんが、そのそしつにあったかんきょうが、しよくぶつをよりよいほうこうにそだてていきます。

はったつのプロセスにおいても、そのそしつにあったかんきょうが、とてもたいせつになります。

かんきょうをととのえていくことが、しょうらいてきにとくせいをよいかたちにはっきしたおとなになることに、つながっていきます。



おこさんのはったつをみるとき、たいせつなポイントが2つあります。

そのひとつめがはったつの「だんかい」です。

ここではわかりやすいうんどうはったつをれいにあげてみました。

だいたい4かげつごろにくびがすわり、8かげつごろにハイハイをし、1さいをすぎると、だいたいあるきはじめます。

このように、ひとは、ひとつののうりよくをみにつけるには、ちいさなステップをひとつずつふみながら
いちだんいちだん、かいだんをあがるようにしてだんだんとうどなのうりよくをみにつけていくのです。

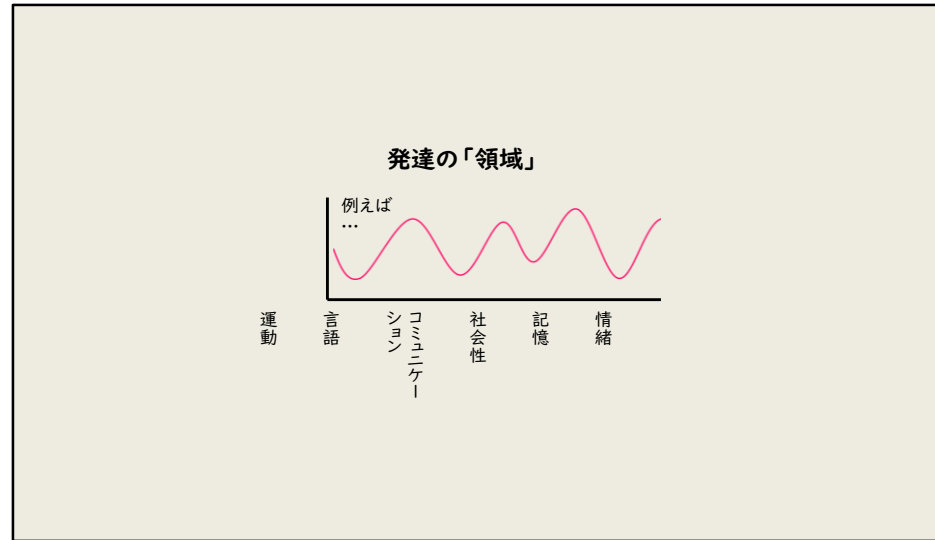
にんげんのばあい、うまれてすぐにいきなりたつてあるいたりはできません。

これは、そのほかのこともおなじです。

いきなりあかちゃんが、ペラペラとはなしはじめるということはありません。

バブバブというおとをだすだんかいから、すこしずつことばにちかいなんご、とよばれるものをいいはじめ、それからひとにつたわるこ
ばをはなせるようになっていきます。

ですので、おこさんのはったつをみるとき、おこさんがいまなにをどのくらいりかいしているのか、
どのくらいのだんかいにいるのか、ということをしておくことがたいせつです。



はったつをみていくときにたいせつなもうひとつのぽいんとは、はったつの「りょういき」です。

これは、よこじくにいろいろなはったつのりょういき、たとえば、ものごとのりかいであるとか、しゃかいせいやコミュニケーションなどを・をあげてみました。

たてじくはそれぞれのいまどのくらいのはったつのだんかいにいるかをあらわします。

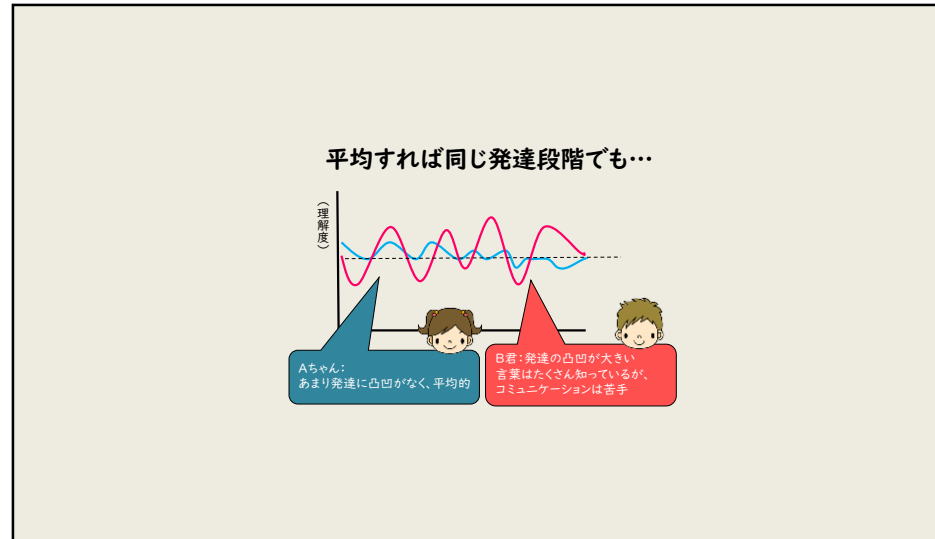
あるぶぶんは、ねんれいいじょうのことができていけれども、あるぶぶんでは、ねんれいよりもひくいことしかまだむずかしい。

このように、おなじおこさんであっても、はったつのりょういきごとにはったつのスピード、はったつのだんかいはことなっていたりします。

これは、わたしたちでもりけいのひと、ぶんけいのひとなどにあてはめるとりかいしやすいかもしれませんね。

だれでもでこぼこはあり、とくいぶんや、にがてぶんやがあるものです。

ただ、はったつでこぼこがあるおこさんはこのでこぼこのはばがとてもおおきく、こじんさのはんいをおおきくこえるかたもいます。



ここにぐたいてきに2人のおこさんのれいをあげました。
ふたりともへいきんすれば、ぜんたいてきにはおなじ3さいのはったつだんかいにあるおこさんです。

Aちゃんは、あまりはったつにでこぼこがなくへいきんてきなおこさんです。
どのりょういきも、なみが、それほどおおきくありません。

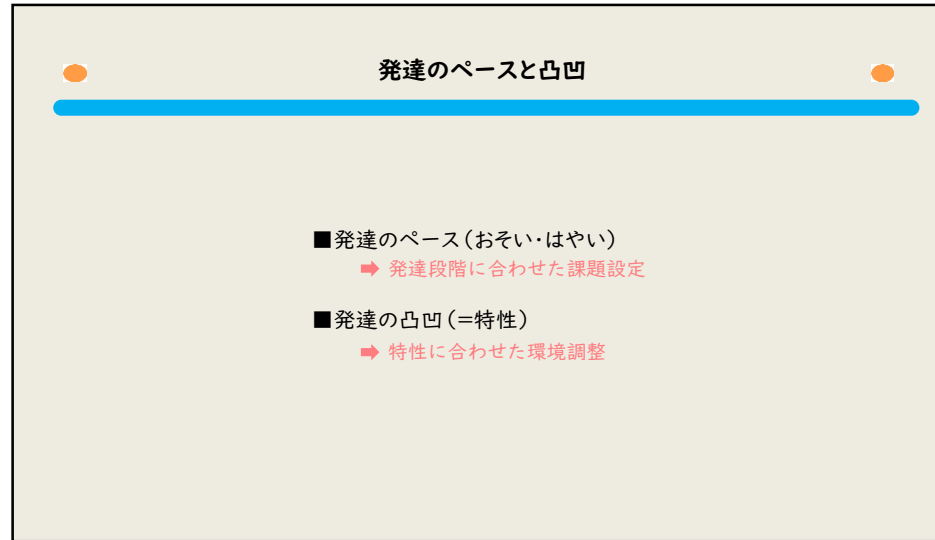
Bくんは、はったつのでこぼこがおおきいおこさんです。
りょういきごとにおおきくなみがでています。

このふたりのおこさんへのしえんは、おおきくちがいます。

Aちゃんには、なにをおしえるにしても、また、Aちゃんのこうどうのりゆうをかんがえるにしても、
「だいたい3さいくらい」をめやすにすれば、ヒントがみつけやすいかもしれませんが、
Bくんは、ねんれいよりもとてもよくできるか、ねんれいよりもとてもひくいかのどちらかになってしまっています。
このようなおこさんには、「なんさいになったら、このしつけをしましょう」というような、
いっぱんてきなこそだてほんのめやすでは、あまりヒントはえられないかもしれません。

ひとつひとつのりょういきごとにかんがえて、ていねいにみていかないとてきせつなかだいのせっていはできません。
また、はなすちからと、りかいするちからにさがあると、ほんとうはいわれていることが、よくわからなくてまごついているときに、「やるきがない」といわれてしまったり、あらぬごかいをうけることになってしまいます。

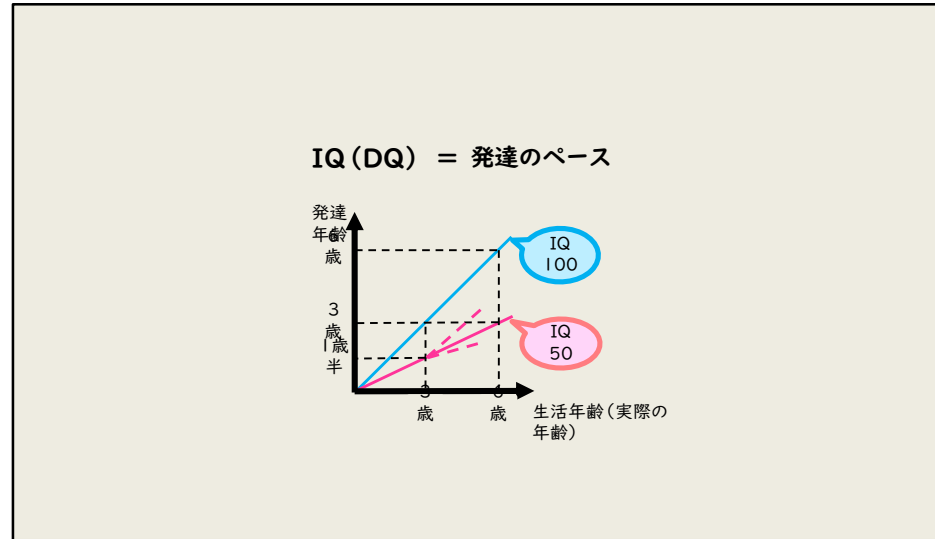
ですから、おこさんのはったつのだんかいと、りょういきごとのとくいふとくいをあわせてみてあげることが、とてもたいせつです。



おこさんのはったつをりかいするにあたって、2つのポイントがあります。

1つめは、はったつのペースをみることです。このばあいは、はったつだんかいにあわせたかだいせつていがたいせつです。

2つめは、はったつのかたより、デコボコを見ることです。このばあいは、とくせいにあわせた、かんきょうちょうせいがひつようです。



はったつのおそさ／ちてきしょうがいがあるかどうかは、いっぱんてきにはったつけんさ・ちのうけんさではんだんします。

けんさをとったことがあるかたはおわかりかとおもいますが、
けんさをとると、ちのうしすう／IQまたははったつしすう／DQがけっかとしてだされます。

IQ、またはDQは、はったつのスピードをあらわし、100がへいきんです。

ずは、IQ100とIQ50のほうのれいです。
IQ100では、せいかつねんれいが3さいのときにはったつねんれいが3さい、
6さいのときにはったつねんれいが6さいと、ねんれいそうおうのはったつをしています。

IQ50では、3さいのときに、はったつねんれいが1さいはん、
6さいのときに3さいとなり、ねんれいのはんぶんのペースではったつしていくかのうせいをあらわしています。

おおくのほうは5. 6さいのころには、すうちがあんていしていくといわれています。
また、けんさはまいとしとるひつようはありません。

そのため、いしやしんりしなどたんとうスタッフとそうだんしながら、けんさじきをけんとうされるとよいでしょう。



こちらは、IQまたはDQによる、ちてきしょうがいのくぶんをあらわしたものです。

ぐらふは、すうちでのにんずうぶんぷをあらわしたもの。

100をへいきんとして、85～115におなじねんれいのやく7わりがはいるといわれています。

いっぱんてきなちのうけんさのばあい、すうち70または75いかをちてきなおくれがある、つまりちてきしょうがいがあるとはんだんします。

70～85をきょうかいいき。おくれはありませんが、おなじねんれいのこどもたちとくらべると、ゆっくりとなります。

さんこうまでに、りょういくてちょうのはんだんくぶんも、のせています。

ここでおつたえしたことは、すうちはあくまでけんさであらわされたすうちであるというてんです。

ちてきのうりよくは、せいかつのうりよくと、イコールではありません。

ちてきなおくれのあるおこさんも、けいけんをもとにまなび、せいかつスキルやコミュニケーションスキルをみにつけていきます。

すうちにとらわれすぎることなく、おこさんの、しゃかいせいかつじょうのてきおうりよくを、じゅうしすることをおすすめします。



はったつをふまえたたいおうのポイントについておはなします。

つい「もう～さいだし、～できないと！」といってしまうことはありませんか？
「はったつ」のしてんにたつと、おこさんができるようになるじきはひとそれぞれです。

かだいがはったつだんかいいにあっていなかったばあいや、もしかしたらまだむずかしかったかもしれないというときには、ひとたびかだいのむずかしさをさげてみてください。

おこさんたちがあらたなことをみにつけやすいのは、じぶんひとりでできることとおとなのおてつだいがあればできることの、ちょうどあいだくらいのことをかだいにしてちょうせんすることです。

おこさんのペースにあわせてむりなくていねいにスモールステップでおしえていくことがたいせつです。

たとえば、おしたくをぜんぶじぶんでやるのではなく、さいごのすそをいれるところはじぶんでやらせる、それがいつもおてつだいなしで、できるようになったら、ズボンにちょうせんしてみる。

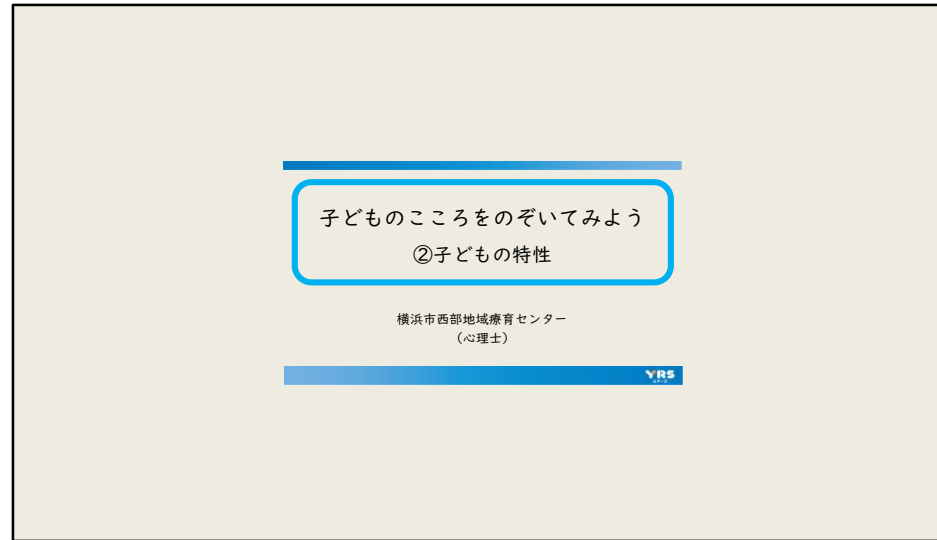
ズボンもいつもおてつだいなしで、できるようになったら、つぎはTシャツ...というようにすこしずつかだいをきざんで、せっていで、できたらほめてあげるということがたいせつです。

参考にした書籍

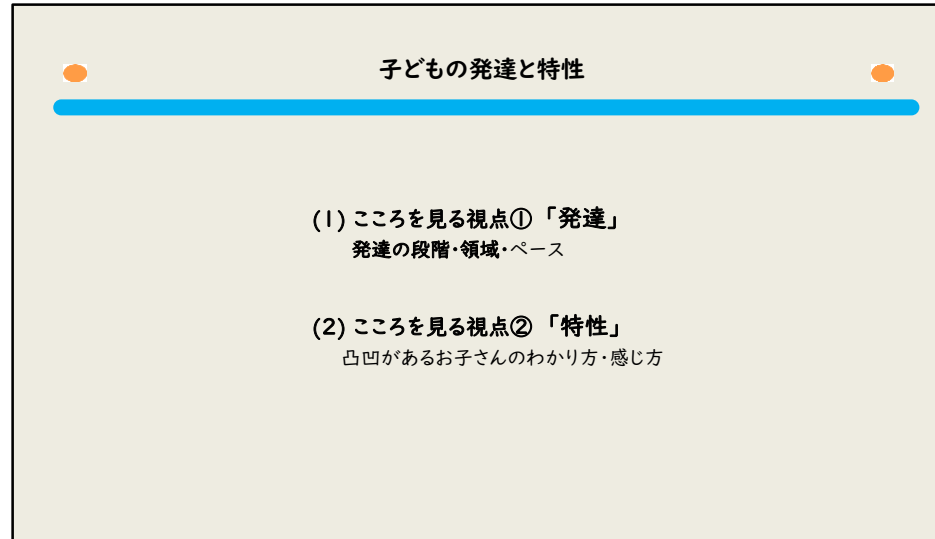
- ・ 本田秀夫監修「発達障害がよくわかる本」(講談社)
- ・ 佐々木正美著「発達障害の子に『ちゃんと伝わる』言葉かけ」(すばる舎)
- ・ 本田秀夫監修「自閉症スペクトラムがよくわかる本」(講談社)
- ・ 本田秀夫・日戸由刈著「ADHDの子の育て方のコツがわかる本」(講談社)
- ・ 小道モコ絵・著「あたし研究」「あたし研究2」(クリエイツかもかわ)

さいごに、こんかい、さんこうにしたしょせきのしょうかいです。

1のおはなしはここまでです。ごしちょうありがとうございました。



きそこうざ「こどものこころをのぞいてみよう」2こどものとくせいについて、しんりしからおはなしします。



こどものはったつとくせいでは、2ぶこうせいでおはなします。

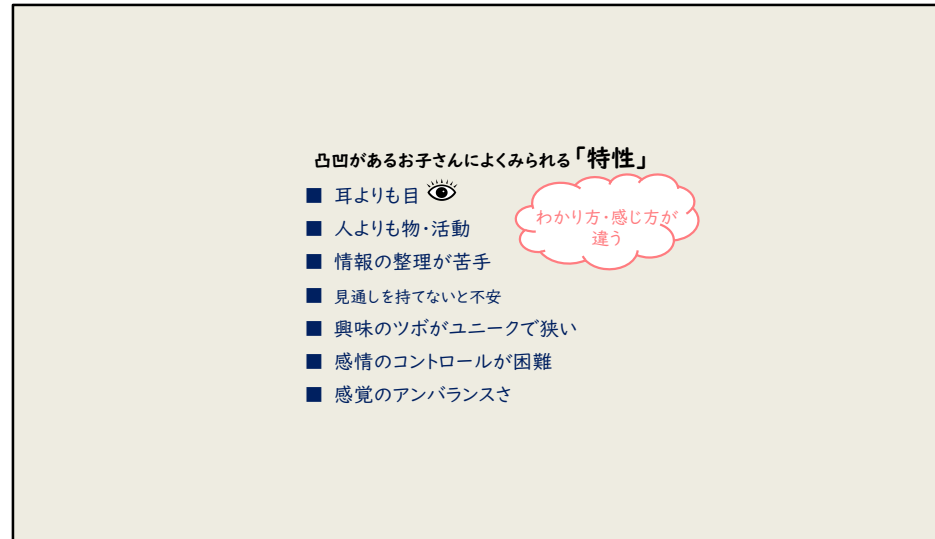
1ではこころをみるしてんとして、はったつについて、おはなししました。

2でおはなしするのは、はったつのとくせいについてです。はったつのでこぼこがあるおこさんのこころのとくちょうと、とくちようにあわせたたいおうのポイントをおはなします。



おこさんのころをみていくときに、2つのしてんをいしきするとおこさんのきもちがわかりやすくなるかとおもいます。

ひとつめが「はったつ」そして、もうひとつがこんかいおはなしする「とくせい」です。



では、はったつのでこぼこがあるおこさんによくみられるとくせいをキーワードにしてあげてみます。



まずひとつめは、みみよりもめでりかいするほうが、とくいということです。

おはなしだけでは、いまからなにがおこるのか、どうなったらおわりか・・・など、わかりにくいことがあります。

いまからなにがおこるのか、どうなったらおわりかをみてわかるようにつたえるくふうは、とくせいのあるおこさんのりかいをたすけます。



ふたつめは、ひとよりももの・かつどうをゆうせんさせやすいということです。

いらすとのように、おともだちのじょうきょうにかかわらず、ものをぱっととってしまうことや、あいてにはいりよすることなく、おもったことをくちにしてしまうというエピソードはありませんか？

とくせいのあるかたは、ひとのきもちやじょうきょうよりも、そのばのものやかつどうがどうかで、こうどうしてしまったり、はつげんしてしまうことがあります。

情報の整理が苦手



情報に優先順位がつけられず、情報の整理が苦手なため、大事な話をきき逃したり、集中して活動に取り組めなかったりすることがあります。

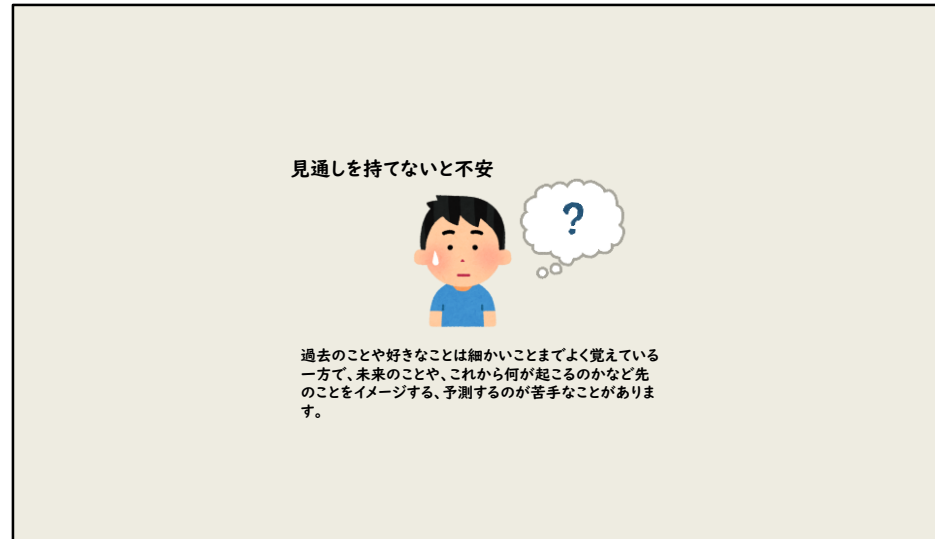
つぎに、じょうほうのせいりがにがてということです。

はったつしょうがいのとくせいのあるかたのなかには、じょうほうにゆうせんじゅんがつけられず、じょうほうのせいりがにがてというほうがいます。

けっか、だいじなはなしをききのがしたり、しゅうちゅうしてかつどうにとりくめなかったりします。

だいじなのは、じょうほうのせいりです。

いまかんけいのないものは、シャットアウトし、みえなくすることもこうかてきです。



つぎに、みとおしをもてないとふあんになりやすいということです。

とくせいのあるかたは、きおくがとてもよいほうがあります。「いついつ～したよね」とこまかいエピソードをおぼえているのがいます。

いっぽうで、これからなにがおこるのかなどさきのことをよそうぞうする、よそくするのがにがてなかたがおおいです。

これからなにをするのか、どうなったらおわるのか、よていをつたえたりして、ぜひみとおしがたちやすいようにつたえてあげてください。

興味のツボがユニークで狭い



エレベーターが好きだったり、くるくるまわるものが好き、
鉄道が好き等、そのお子さんなりの興味のツボがあります。

きょうみのつぼがニユークでせまいかたもいます。

エレベーターがすきだったり、くるくるまわるものがすきなおこさんもいます。

てつどうずきのおこさんのなかにも、ろせんずをみるのがすきなこもいれば、しゃしんをとることがすきな“さつてつ”、エンジンおんをきくのがすきなおとてつなど、これまたいろいろです。

なぜこんなものを...？もっとほかのことにもきょうみをもってほしい！とおもってしまいますが、きょうみのあるものからいろんなことをきゅうしゅうしていくものです。
そして、きょうみのつぼをふかめていくことは、しょうらいのしゅみ・よかのひろがりにつながります。
おこさんのきょうみのつぼはぜひだいじにしてあげてください。

感情コントロールが苦手



思い通りにならなくてかんしゃく、静かにしなければいけない場面で騒いでしまう等、感情のコントロールができるようになっていくのが、一般的な年齢よりももう少しあとになることがあります。

つぎは、かんじょうコントロールがにがてということです。

おもいどおりにならなくてかんしゃく、しずかにしなければいけないばめんでさわいでしまって・・・というごそうだんもおおくうけます。

かんじょうコントロールじたいは、いっぱんてきに4・5・さい、ねんちゅうさん・ねんちょうさんのころにおおきくへんかするじきで、このねんだいのはったつかだいでもあります。

しかし、とくせいのあるおこさんはかんじょうコントロールがはったつかだいになるのはもうすこしあとのことがおおいようです。

ですから、ようじきは、じぶんでかんじょうコントロールすることをねらうのではなく、クールダウンをできるばしょをよういする、しずかにかごせるグッズをよういしてすごすなど、おとながわがくふうしたり、たいおうしてあげるのがよいでしょう。

感覚のアンバランスさ



タグや縫い合わせのデコボコ、服の素材、突然
耳に入る大きな音、偏食といった感覚過敏等の、
感覚のアンバランスさがあることがあります。

さいごは、かんかくのアンバランスさです。

わたしたちでもふくのそざいによっては、タグがきになったりすること、ありますよね。
でも、それによって、へんずつうでねこんでしまう...とまではなかなかありません。

たべものや、とつぜんみみにはいるおおきなおとなどがにがてなかつたもおおいです。
かんかくかびんなどかんかくのあんばらんすさがあるひとのつらさは、わたしたちのにがてとはじげんがちがう「つらさ」のようです。

とくせいのあるかたのおおくに、かんかくのあんばらんすさがあるといわれています。
たえさせることよりも、まずは、むりをしないでにがてなばを「さけるじゅつ」をみにつけましょう。

特性に合わせた対応の工夫

- 1 目で見てわかりやすく 
- 2 予告をする
- 3 刺激を整理する
- 4 興味に合わせる
- 5 はっきりとほめる
(その場で、ハイタッチなど)

「とくせい」にあわせたたいおうのくふうについて、ポイントをあげておはなします。

1、「めでみてわかりやすく」

2、「よこくをする」

3、「しげきをせいりする」

4、「きょうみにあわせる」

5、「はっきりとほめる」

すこし、りょういくのばでじっさいにいているものをれいにあげてみます。

目で見てわかりやすく



	いっしょ
1	のーと だす
2	しーる はる
3	のーと しまう
4	なふだ
5	かばん かたづけ
6	くつした しまう
7	できました

とくせいのあるかたは、みみよりもめからのじょうほうにつよいほうがおおいので、なにをどこにかたづけるか、つぎになにがはじまるかなど、めでみてわかるようにすると、とくせいのあるおこさんのりかいをたすけます。



よくする。

さきほどのめを見てわかりやすくにもあったように、すけじゅーるやてじゅんひょうは、つぎはなにかをつたえるよくにもなります。

タイマーやとけいをつかっておわりをつたえたり、10かぞえておしまいというこえかけもよくですね。

みてわかるかたちでなくても、なにかをするまえに、ことばでよくすることでわかるというおこさんもいます。

たとえば、スーパーにはいるまえに、「てをつなぎます」とつたえて、てをつなぐといったたいおうもひとつのよくです。

刺激を整理する



じょうほうのせいりがにがてなおこさんは、

かんけいのないしげきをむしできないこともあります。このばあい、かんけいのないしげきはみえないようにかくしてあげる、
というのもくふうのひとつです。

ごかていのせいかつでは、ごはんをたべるときはてれびをけす、おもちゃのたなをたおるでおおうなど、これだけでもこうか
があるということがあります。



おこさんのきょうみにあわせて、すきなものをとりいれて、かつどうにいきよくてきにとりくめるようサポートすることもたいせつです。

たとえばトイレにすきなキャラクターをはって、トイレにいくことをたのしみにできるようにする、おきがえをがんばったら、おきにのりシールをはるというのもひとつです。



はったつのでこぼこがあるおこさんは、しっばいからはまなびにくいことがおおいです。

しっばいよりも、せいこうたいけんで「できた！」「ほめられた！」から、まなんでいきます。できればそのばで、そして、ハイタッチをしたりして、はっきり・しっかりとほめてあげましょう。

凸凹があるお子さんを理解するポイント

■ **わかり方や感じ方が違う**（優劣ではない）
「**特性**」により、「特有の発達スタイル」がある

■ 目標は、二次的な問題の予防

- ・ **安心・わかるの環境**を保障
- ・ **周囲の理解者を増やすことが重要**

参考：本田秀夫監修（講談社）

発達障害がよくわかる

本

自閉症スペクトラムが
よくわかる本

はったつに凸凹があるおこさんのりかいのまとめです。

凸凹は、「**とくゆうのはったつスタイル**」であり、「**しょうじょうというよりもとくせい**」です。

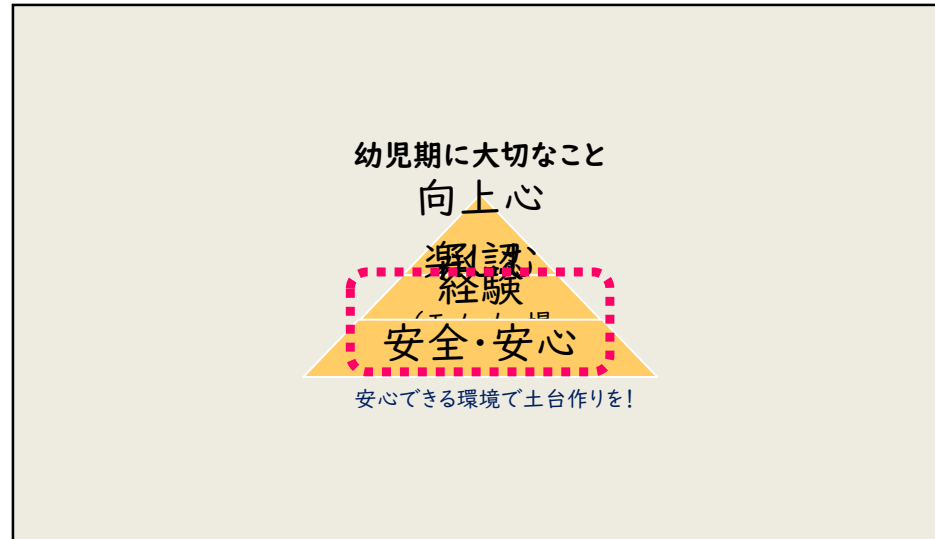
わかりかたやかんじかたがちがうのであって、ゆうれつではありません。

もくひょうは、にじてきなもんだいのよぼうです。

とくせいのあるおこさんは、ストレスによわいほうがおおいといわれています。

「あんしん・わかる」のかんきょうをほしょうし、しゅういのりかいしゃをふやすことがじゅうようです。

それぞれのおこさんのとくせいにあわせたかんきょうちょうせいをいっしょにかんがえていきましょう。



さいごに、まとめにかえて、ようじきにたいせつなことをおはなしします。

このずはおこさんがじここうていかんをはぐくむためにひつようなことをもでるずにしたものです。
したからじゅんに、じゅうぶんなけいけんをつみかさねていくことがたいせつです。

あんぜん・あんしん:おびやかされずに、あんぜんであんしんなかんきょうですごすこと
たのしむけいけん:たのしめるものがあり、ひととたのしむ、たのしめるばしょがあること
ようちえんやほいくえんは、おこさんにとってたのしめるものがある、いばしょになっていますか？
そして、しょうにん:ひとからみとめられるけいけんとつむこと。「いいね！」「すごいね！」とほめられる・みとめられるけいけんは、おこさんのこうじょうしん、あらたなちゃれんじへのころをはぐくみます。
ようじきは、おとなから。おおきくなると、どうねんだいのこからみとめられるけいけんをたくさんつめるといいですね。

なにごともしどだいづくりがかんじんです。ようじきは、とくに、あんぜん・あんしんなかんきょうで、たのしむけいけんをたくさんつめることをたいせつにしてください。

参考にした書籍

- ・ 本田秀夫監修「発達障害がよくわかる本」(講談社)
- ・ 佐々木正美著「発達障害の子に『ちゃんと伝わる』言葉かけ」(すばる舎)
- ・ 本田秀夫監修「自閉症スペクトラムがよくわかる本」(講談社)
- ・ 本田秀夫・日戸由刈著「ADHDの子の育て方のコツがわかる本」(講談社)
- ・ 小道モコ絵・著「あたし研究」「あたし研究2」(クリエイツかもかわ)

こんかい、さんこうにしたしよせきのしょうかいです。

2のおはなしはしゅうりょうです。ごしちょうありがとうございました。